

(品目別需給編)

1 小麦

(1)国際的な小麦需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し>

2020/21 年度

生産量 前年度比 前月比

- ・アルゼンチン等で下方修正も、豪州、カナダ等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

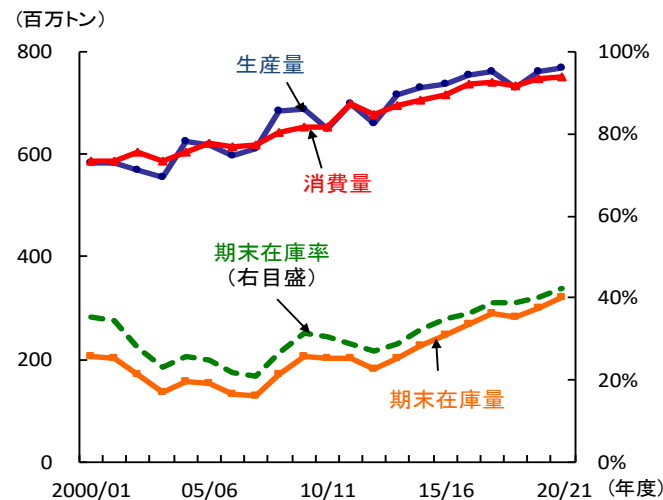
消費量 前年度比 前月比

- ・アルゼンチン等で下方修正も、豪州、カナダ等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

輸出量 前年度比 前月比

- ・アルゼンチン等で下方修正も、豪州、カナダ等で上方修正され、前月から上方修正された。

期末在庫量 前年度比 前月比



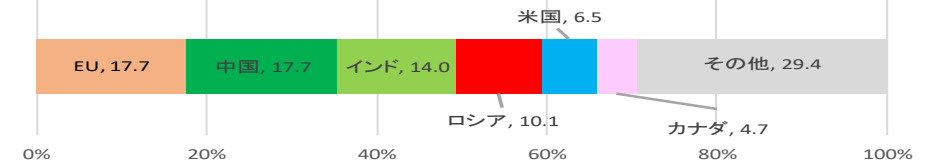
◎世界の小麦需給

(単位：百万トン)

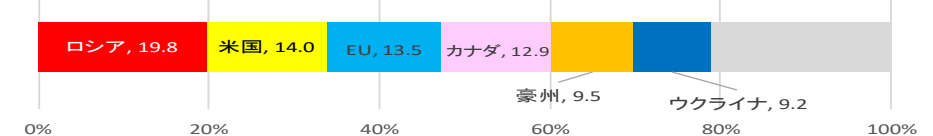
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	731.0	764.0	770.5	4.5	0.8
消費量	735.3	748.2	750.9	0.8	0.4
うち飼料用	139.7	138.3	134.6	0.8	▲ 2.7
輸出量	173.6	191.4	189.4	1.5	▲ 1.0
輸入量	170.7	183.8	185.3	1.6	0.8
期末在庫量	284.0	299.8	319.4	2.6	6.5
期末在庫率	38.6%	40.1%	42.5%	0.3	2.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(11 September 2020)

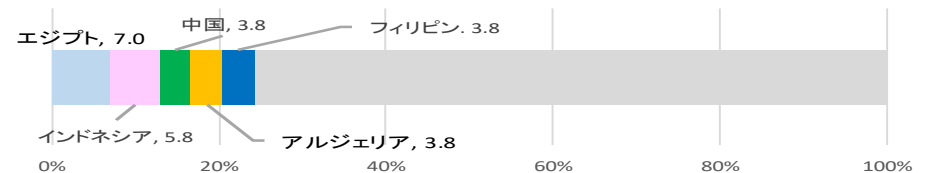
○ 2020/21年度の世界の小麦の生産量(770.5百万トン) (単位：%)



○ 2020/21年度の世界の小麦の輸出量(189.4百万トン)



○ 2020/21年度の世界の小麦の輸入量(185.3百万トン)



(2) 国別の小麦の需給動向

< 米国 >

【生育・生産状況】米国農務省(USDA)「Crop Progress」(2020.9.14)によれば、春小麦の収穫は、乾燥天候で進展し終盤を迎えた。9月13日時点の主要6州の収穫進捗率は、92%と前年度同期の75%を上回り、過去5年平均(95%)とほぼ同率となっている。また、冬小麦の収穫は9月6日現在で終了した。

2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、50.0百万トンの見込み。

内訳は、冬小麦、春小麦、デュラム小麦とも、前月予測からの変更はなく、それぞれ32.6百万トン、15.7百万トン、1.7百万トンの見込み。冬小麦は収穫面積の減少と単収の低下により、前年度(35.5百万トン)を下回る見込み。春小麦は、収穫面積の増加と単収の上昇により、前年度(15.3百万トン)を上回る見込み。デュラム小麦は、単収が低下したものの、収穫面積の増加により、前年度(1.5百万トン)を上回る見込み。

USDA「Wheat Outlook」(2020.9.11)によれば、冬小麦(HRW)のタンパク含有量は2019/20年度の11.3%を上回ったものの、11.9%と目標の12%を僅かに下回った一方で、水分含有量は良好である。また、ノースダコタ州の春小麦のタンパク含有量は、14.6%と平均を僅かに上回った。

なお、乾燥天候となっているものの、2021/22年度の冬小麦の作付けが開始されており、主要18州の作付進捗率は10%と前年度の6%、5年平均の8%を上回っている。

州別の作付進捗率は、ワシントン州等で前年度を上回っているものの、ネブラスカ州、カンザス州では9%、2%と、それぞれ5年平均の17%、5%を下回っている。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、26.5百万トンの見込み。なお、輸出価格は上昇しており、品種別では、HRW(※)は中国の強い需要や、中国向けとうもろこし・大豆との鉄道、港湾輸出設備での競合から8月10日より30ドル上昇して245ドル/トンとなった。また、HRSは日本、中国、フィリピンの需要から同日より37ドル上昇し278ドル/トンとなった。

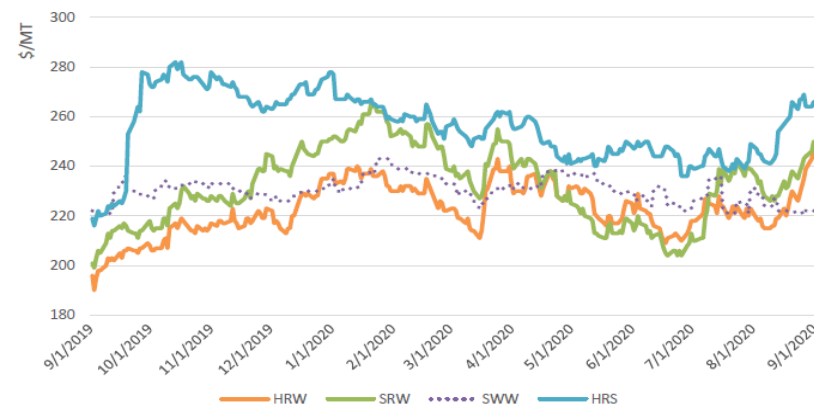
小麦－米国（冬小麦が全体の7割、春小麦は3割）

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	51.3	52.3	50.0	-	▲ 4.3
消費量	30.0	29.8	30.2	-	1.4
うち飼料用	2.4	2.0	2.5	-	23.1
輸出量	25.5	26.3	26.5	-	1.0
輸入量	3.7	2.9	3.5	-	23.8
期末在庫量	29.4	28.4	25.2	-	▲ 11.3
期末在庫率	53.0%	50.6%	44.4%	-	▲ 6.3
(参考)					
収穫面積(百万ha)	16.03	15.04	14.84	-	▲ 1.3
単収(t/ha)	3.20	3.47	3.37	-	▲ 2.9

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」(11 September 2020)

図 品種別米国産小麦の輸出価格の推移



Source: IGC

資料: USDA「Grain:World Markets and Trade」(2020.09.11)

(※)HRW: ハードレッドウインター SRW: ソフトレッドウインター SWW: ソフトホワイト

HRS: ハードレッドスプリング

< カナダ >

【生育・生産状況】カナダ統計局「Model-based principal field crop estimates August 31.2020」(2020.9.14)によれば、2020/21 年度の生産量は、単収と収穫面積の増加により、前年度より 5.6%増加の 34.1 百万トンの見込み。

主要生産州の生産量は、サスカチュワン州が前年度対比 1.9%増の 15.4 百万トン、アルバータ州が同 4.6%増の 10.7 百万トン、マニトバ州が同 2.5 百万トン増の 4.9 百万トンの見込み。

各州政府による収穫進捗率は、サスカチュワン州では、降雨で作業が遅れたものの、9 月 14 日現在、冬小麦が 100%、春小麦が 55%、デュラム小麦が 86%、マニトバ州では、低温による降霜懸念も、乾燥天候で収穫が進展し、9 月 15 日現在、冬小麦が 100%、春小麦が 82%、アルバータ州では、9 月 11 日現在、春小麦が 13.5%、デュラム小麦が 58.3%、冬小麦が 92.4%である。

USDA によれば、2020/21 年度の実産量は、収穫面積の増加と良好な天候に恵まれたことから、前月予測から 2.0 百万トン上方修正され、36.0 百万トンの見込み。

カナダの生産者は、高い需要から冬小麦及びデュラム小麦の作付面積を増やした。

【貿易情報・その他】USDA によれば、2020/21 年度の輸出量は、前月予測から 0.5 百万トン上方修正され 25.0 百万トンの見込み。

また、輸出価格は 9 月 9 日時点で 239 ドル/トンと、史上第 2 位となる生産量の増加予測にもかかわらず、8 月 10 日の 232 ドル/トンから上昇した。

カナダ穀物委員会(Canadian Grain Commission)によれば、2019/20 年度(2019 年 8 月～2020 年 7 月)の輸出量累計は、普通小麦が 1,804.7 万トンであり、国別の輸出量は、インドネシアが 218.2 万トン(12.1%)、日本が 180.0 万トン(10.0%)、中国が 171.2 万トン(9.5%)の順である。

また、デュラム小麦は、526.0 万トンで、国別の輸出量は、イタリアが 124.7 万トン(23.7%)、トルコが 97.9 万トン(18.6 %)の順となっている。

小麦－カナダ（春小麦を主に栽培）

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、() はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	32.2	32.4	36.0 (34.1)	2.0	11.3
消 費 量	9.1	9.3	10.0 (8.9)	0.3	8.0
うち飼料用	4.2	4.2	4.8 (4.4)	0.3	15.4
輸 出 量	24.4	24.6	25.0 (24.5)	0.5	1.5
輸 入 量	0.5	0.7	0.5 (0.2)	-	▲ 33.8
期末在庫量	5.9	5.0	6.5 (5.9)	1.0	28.8
期末在庫率	17.6%	14.8%	18.5% (17.7%)	2.4	3.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	9.88	9.66	9.90 (9.88)	0.10	2.5
単収(t/ha)	3.26	3.35	3.64 (3.46)	0.17	8.7

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(11 September 2020)
AAFC 「Outlook For Principal Field Crops」(24 September 2020)

表 カナダの小麦輸出相手国(輸出検証高、シェア)
(普通小麦)

	2020年7月			2019年8月～2020年7月		
	国名	輸出量 (万トン)	輸出量シェア (%)	国名	輸出量 (万トン)	輸出量シェア (%)
1	バングラデシュ	30.4	13.9	インドネシア	218.2	12.1
2	中国	28.7	13.1	日本	180.0	10.0
3	インドネシア	28.1	12.8	中国	171.2	9.5
4	ペルー	21.1	9.6	バングラデシュ	143.4	7.9
5	日本	16.4	7.5	ペルー	132.4	7.3
6	その他	94.3	43.1	その他	959.5	53.2
計		219.0	100.0	計	1804.7	100.0

(デュラム小麦)

	2020年7月			2019年8月～2020年7月		
	国名	輸出量 (万トン)	輸出量シェア (%)	国名	輸出量 (万トン)	輸出量シェア (%)
1	イタリア	22.7	35.6	イタリア	124.7	23.7
2	モロッコ	8.4	13.2	トルコ	97.9	18.6
3	スペイン	6.1	9.6	モロッコ	88.9	16.9
4	米国	5.8	9.1	アルジェリア	39.2	7.5
5	アルジェリア	4.9	7.7	米国	38.6	7.3
6	その他	2.7	4.3	その他	136.7	26.0
計		63.7	100.0	計	526.0	100.0

注1: Canadian Grain Commissionが認可したエレベーターから輸出された小麦(Licensed)のみのデータ。

注2 普通小麦の品種はNO.1-3Canada Western Red Spring No.1Canada Western Red Winter

No.2Canada Eastern Red Spring No.2Canada Eastern Oter.デュラムはCanadaWestern Amber Durum Others

注3: 累計輸出検証高は2019年8月～2020年7月までの累計

資料: Canadian Grain Commission「Export of Canadian Grain and Wheat Flour」をもとに作成。

< 豪州 >

【生育・生産状況】豪州農業資源経済科学局(ABARES)「Crop Report」(2020.9.8)によれば、2020/21 年度の生産量は前年度に比べ 90.6%増加し 28.9 百万トンとなる見込み（前回 6 月予測は 26.7 百万トン、5 年平均は 21.6 百万トン）。

主要生産州別の生産量は、良好な降雨で、単収が 10 年平均を 58%上回る 2.7 トン/ヘクタールとなり、作付面積が 10 年平均を 34%上回り 2019/20 年度の 2 倍の 3.8 百万ヘクタールとなった NSW 州(※)が 10.3 百万トン(前年度対比 390.9%増)。6 月、7 月に平均を下回る降雨量となったものの、8 月に適時の降雨があり単収が上昇し、作付面積も前年度対比 153.4%増となった WA 州が 8.9 百万トン(同 153.4%増)。SA 州が 4.5 百万トン(同 140.6%増)、VIC 州が 4.1 百万トン(同 13.8%増)となっている。

なお、USDA によれば、2020 年 5 月の播種以来、土壌水分量は殆ど的小麦生産地で昨年の乾燥状況から改善し、8 月下旬から 9 月初めにかけて生育条件も良好であったため、2020/21 年度の実産量は、単収の上昇により、前月予測から 2.5 百万トン上方修正され、28.5 百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDA によれば、2020/21 年度の輸出量は、前月予測から 1.5 百万トン上方修正され 19.0 百万トンの見込み。輸出価格は 9 月 9 日時点で 244 ドル/トンと、史上第 3 位となる生産量の増加予測にもかかわらず、8 月 10 日時点の 232 ドル/トンから上昇した。

ABARES「Agricultural Commodities」(2020.9.15)によれば、輸出量は生産量の増加と国内消費の減少により輸出余力が増加するため、前年度対比 84%増の 18.5 百万トンの見込み。

豪州の輸出市場である東南アジアでは経済成長や人口増により、ここ 10 年ほどで小麦の輸入量が倍になったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済成長が伸び悩み、2020 年は高品質小麦や飼料用小麦の輸入需要の伸びが低下、または減少する可能性がある。

小麦－豪州（冬小麦を主に栽培）

(単位:百万トン)

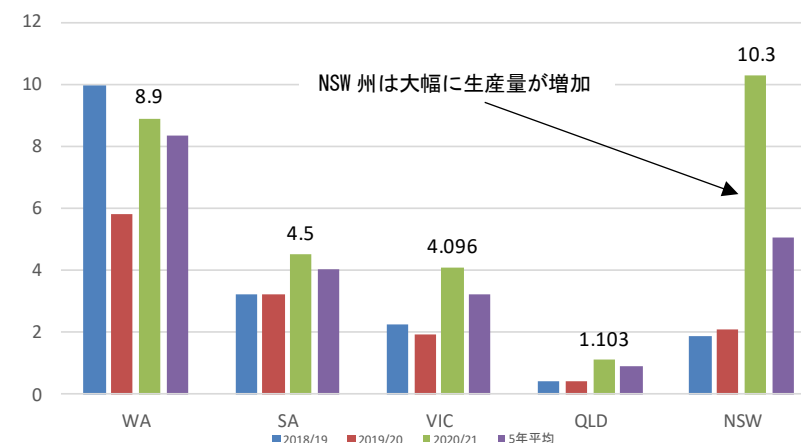
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、() は IGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	17.6	15.2	28.5 (27.5)	2.5	87.5
消 費 量	9.2	8.4	7.5 (7.3)	0.5	▲ 10.7
うち飼料用	5.7	4.9	4.0 (3.7)	0.5	▲ 18.4
輸 出 量	9.0	9.5	19.0 (17.5)	1.5	100.0
輸 入 量	0.5	0.8	0.2 (0.2)	-	▲ 73.3
期末在庫量	5.4	3.5	5.7 (6.4)	0.5	63.0
期末在庫率	29.9%	19.5%	21.5% (25.9%)	0.3	2.0

(参考)

収穫面積(百万ha)※	10.40	10.20	13.00 (13.0)	-	27.5
単収(t/ha)	1.69	1.49	2.19 (2.02)	0.19	47.0

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(11 September 2020)
IGC 「Grain Market Report」(27 August 2020)

(百万トン) 小麦主要生産州の生産量推移及び・5年平均生産量



資料：豪州農業資源経済科学局(ABARES)「Crop Report」(2020.9.8)をもとに農林水産省で作成

(※)NSW 州：ニューサウスウェールズ州 WA 州：ウエスタンオーストラリア州
QLD 州：クイーンズランド州 SA 州：サウスオーストラリア州

< EU > (英国を含む)

【生育・生産状況】EU 委員会「EU Cereals Production Area and Yield」(2020.8.27)によれば、2020/21 年度の生産量は、前月予測から 3.3 百万トン下方修正され、121.6 百万トンの見込み。

そのうち、普通小麦は、前月予測から 3.2 百万トン下方修正され、114.4 百万トンの見込み。主要生産国では、ポーランドで 0.4 百万トン上方修正も、ドイツで 1.7 百万トン、フランスで 1.6 百万トン、ルーマニアで 1.1 百万トン下方修正された。

また、デュラム小麦は、前月予測から 0.1 百万トン下方修正され、7.2 百万トンの見込み。主要生産国では、ドイツで 0.3 百万トン上方修正も、イタリアで 0.8 百万トン、フランスで 0.4 百万トン下方修正された。

同委員会「Crop monitoring in Europe」によれば、小麦の収穫は、ドイツで終了、ポーランド、英国では進行中である。英国は、8月の降雨や春小麦へのシフトが大きかったことから、収穫が遅れている。また、フランスアグリメール(2020.9.14)によれば、フランスの収穫は終了した。

なお、USDA によれば、2020/21 年度の実産量(EU27+U.K)は、収穫面積が減少したものの、単収が上方修正されたことから、前月予測より 0.7 百万トン上方修正され、前年度を 12.1%下回る 136.2 百万トンの見込み。

また、スペインで乾燥天候となっているものの、英国、フランス、ドイツ等では、8月下旬の降雨で、2021/22 年度の冬小麦の播種に向けた土壌水分が改善された。

【貿易情報・その他】USDA によれば、2020/21 年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、25.5 百万トンの見込み。2020 年 6 月までの普通小麦の輸出先国シェアでは、2018 年 0.7%、2019 年 3.3%のシェアであった中国が、6.4%まで拡大した。同期間の中国向け輸出量は、2019 年の中国向け輸出量を上回り、2018 年の同国向け輸出量に迫っている。EU の輸出価格は 9 月 9 日時点で 228 ドル/トンと、EU 内の主要生産国の生産減から、8 月 10 日時点の 216 ドル/トンから上昇した。

小麦—EU (冬小麦を主に栽培)

(単位:百万トン)

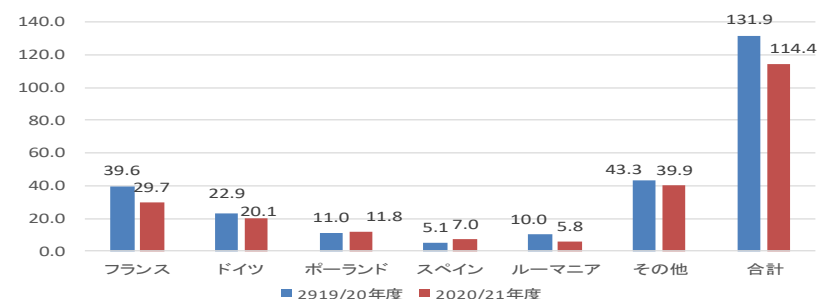
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、() はEU	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	136.7	154.9	136.2 (121.5)	0.7	▲ 12.1
消 費 量	121.1	122.5	117.3 (104.1)	-	▲ 4.2
うち飼料用	51.5	52.5	47.5 (39.9)	-	▲ 9.5
輸 出 量	23.3	38.4	25.5 (25.3)	-	▲ 33.6
輸 入 量	5.8	4.8	5.5 (7.0)	-	14.6
期末在庫量	16.0	14.8	13.7 (8.0)	0.1	▲ 7.8
期末在庫率	11.1%	9.2%	9.6% (6.2%)	0.1	0.4

(参考)

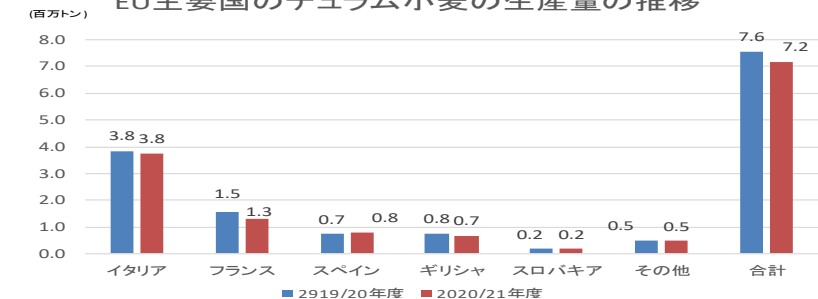
収穫面積(百万ha)	25.52	26.14	24.70 (22.76)	▲ 0.05	▲ 5.5
単収(t/ha)	5.36	5.93	5.51 (5.34)	0.04	▲ 7.1

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
USDA 「PS&D」(11 September 2020) 表内のデータはEU27+英国
IGC 「Grain Market Report」(27 August 2020) ()内はEU27ヶ国のデータ

EU主要国の普通小麦の生産量の推移



EU主要国のデュラム小麦の生産量の推移



資料: 欧州委員会 EU Crop Market Observatory(2020.8.27)をもとに農林水産省で作成

< 中国 >

【生育・生産状況】中国気象台によれば、9月4日現在、冬小麦の収穫は終了し、春小麦の収穫は甘粛省、青海省、河北北西部の一部を除き終了した。

中国糧油情報センター(2020.9.4)によれば、2020/21年度の小麦の生産量は、前月予測からの変更はなく、134.0百万トンの見込み。種類別の内訳は、冬小麦、春小麦とも前月予測からの変更はなく、それぞれ126.6百万トン、7.4百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】中国農産品供需形勢分析月報(8月)によれば、中秋節と建国記念日等で消費が増える時期となったが、小麦の史上流通量の減少のため、国内卸売価格は上昇した。

種類別の価格は、普通小麦が対前年同月比3.5%上昇の2,380元/トン、高品質小麦が同1.6%上昇の2,620元/トン。

中国糧油情報センターによれば、2020/21年度の輸入量は、米国からの輸入増加見込みから、前月予測から1.0百万トン上方修正され、7.0百万トンの見込み。

USDAによれば、2020/21年度の輸入量(7.0百万トン)は1995/96年度(12.5百万トン)以来最高の輸入量となる。

中国海関統計によれば、2020年1月から7月の小麦の輸入量計は、前年同期に比べ2.25倍の411.8万トン。前年同期と輸入国シェアと比較すると、フランスが7.2%から28.5%に、豪州が5.4%から24.6%、米国が4.2%から11.2%に増加、カナダは73.0%から22.6%に低下した。米国からは5月から7月の3ヶ月間に46.3万トンを輸入した(前年は1月から7月まで4.2万トン)。

また、中国は、2020年の小麦の低関税適用輸入枠を963.6万トン(国営貿易比率90%)に設定しているが、中国国家発展改革委員会は9月17日、2021年の小麦についても、同輸入枠を2020年と同量(963.6万トン)に据え置くと公表した。

中国では穀物自給率は95%を超え小麦は完全自給で、輸入小麦は高品質専用小麦を中心に品種間調整用としつつ、同輸入枠まで最低1%の低関税輸入を認めている。

小麦—中国(冬小麦を主に栽培)

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	131.4	133.6	136.0 (135.0)	-	1.8
消 費 量	125.0	126.0	130.0 (132.0)	-	3.2
うち飼料用	20.0	19.0	20.0 (21.0)	-	5.3
輸 出 量	1.0	1.1	1.0 (1.3)	-	▲ 4.8
輸 入 量	3.2	5.4	7.0 (6.1)	1.0	30.1
期末在庫量	139.8	151.7	163.7 (138.0)	1.0	7.9
期末在庫率	110.9%	119.4%	124.9% (103.6%)	0.8	5.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	24.27	23.73	24.00 (23.8)	-	1.1
単収(t/ha)	5.42	5.63	5.67 (5.68)	-	0.7

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(11 September 2020)
IGC 「Grain Market Report」(27 August 2020)

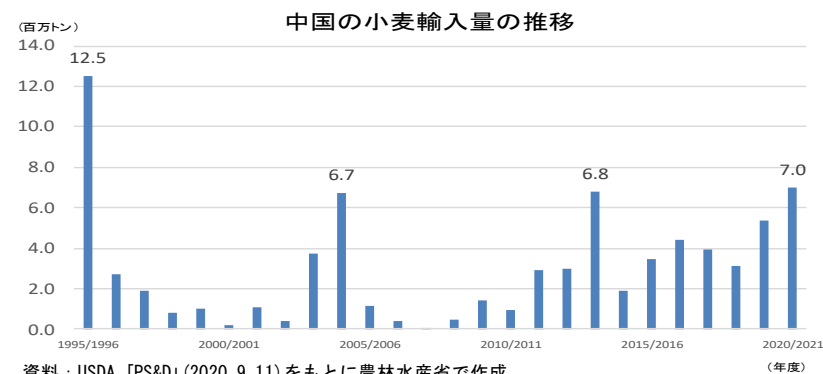


表 中国の小麦輸入量、輸入先国シェア

	2019年1月～2019年7月			2020年1月～2020年7月		
	国名	輸入量 (万トン)	輸入量シェア (%)	国名	輸入量 (万トン)	輸入量シェア (%)
1	カナダ	133.2	73.0	フランス	117.4	28.5
2	カザフスタン	24.6	13.4	カナダ	109.4	26.6
3	フランス	13.1	7.2	豪州	101.1	24.6
4	豪州	5.4	3.0	米国	46.3	11.2
5	米国	4.2	2.3	リトアニア	21.8	5.3
6	その他	2.1	1.2	その他	15.7	3.8
	計	182.6	100.0	計	411.8	100.0

出典: 中国海関統計(2020.8.25)をもとに農林水産省で作成

< ロシア >

【生育・生産状況】ロシア農業省によれば、9月4日時点のロシア全土の小麦の収穫済面積は29.4百万ヘクタールで、収穫進捗率は78.7%。収穫量は76.3百万トン（調整前重量）、単収は3.30トン/ヘクタールである。

ロシア国営「穀物品質評価センター」のサンプル調査によれば、9月14日時点で収穫された小麦の32.4%に当たる24.9百万トンの品質は、1等0.0%(前年0.0%)、2等は0.2%(同0.0%)、3等は30.4%(同32.4%)、4等は38.5%(38.5%)、5等は30.9%(同46.3%)で、主に食用用途の1等から4等の比率は69.1%と前年同日の78.7%を下回っている。

USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、78.0百万トンと前年度を6%上回る見込み。内訳は、冬小麦が58.0百万トン、春小麦は20.0百万トン。冬・春小麦計の単収は2.76トン/ヘクタールと前年度を2%上回り、収穫面積は28.3百万ヘクタールと前年度を3.6%上回る見込み。

冬小麦の収穫は、8月中旬に終了した。ロシア南部のスタボロポリ地域や南連邦管区の一部では生育期間を通じて乾燥天候の影響を受けたが、中央連邦管区、沿ボルガ連邦管区での豊作により、生産減は補われた。

一方、春小麦の収穫は続いており、8月の沿ボルガ連邦管区やウラル連邦管区では収穫に適した乾燥天候となった。シベリア連邦管区では、降雨があったものの、登熟期には間に合わなかった。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月から変更はなく、37.5百万トンの見込み。9月9日現在の輸出価格は219ドル/トンと、需要増や鉄道輸送能力の制約から、8月10日の205ドル/トンより上昇した。

ロシア税関統計によれば、7月の輸出先国はトルコ(45.8万)トン、エジプト(28.1万トン)、バングラデシュ(16.9万トン)の順。連邦動植物衛生監督局によれば、7月1日から9月15日までの累計輸出量は1,010万トン。今期は8月に入り輸出が加速した。

小麦ーロシア(主産地の欧州部で冬小麦、シベリアで春小麦を栽培)

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	71.7	73.6	78.0 (79.9)	-	6.0
消費量	40.5	40.0	40.5 (41.3)	-	1.3
うち飼料用	18.0	17.0	17.5 (18.2)	-	2.9
輸 出 量	35.9	34.2	37.5 (38.1)	-	9.5
輸 入 量	0.5	0.3	0.5 (0.3)	-	51.5
期末在庫量	7.8	7.5	8.0 (11.0)	-	6.7
期末在庫率	10.2%	10.1%	10.2% (13.8%)	-	0.2

(参考)

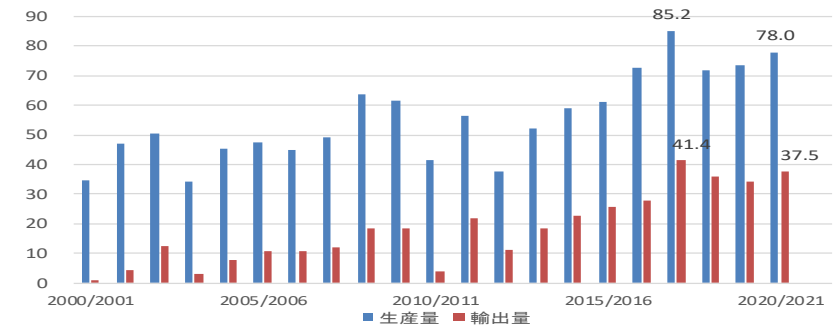
収穫面積(百万ha)	26.34	27.31	28.30 (28.5)	-	3.6
単収(t/ha)	2.72	2.70	2.76 (2.80)	-	2.2

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(11 September 2020)

IGC 「Grain Market Report」(27 August 2020)

(百万トン)

ロシアの生産量と輸出量の推移



資料: USDA 「PS&D」(2020.9.11)をもとに農林水産省で作成

表 ロシアの小麦輸出先国(シェア)

	2020年7月			2019年7月～2020年6月		
	国 名	輸出量 (万トン)	輸出シェア (%)	国 名	輸出量 (万トン)	輸出シェア (%)
1	トルコ	45.8	19.6	トルコ	794.2	23.6
2	エジプト	28.1	12.1	エジプト	623.1	18.5
3	バングラデシュ	16.9	7.3	バングラデシュ	229.8	6.8
4	アゼルバイジャン	12.5	5.4	アゼルバイジャン	131.5	3.9
5	オマーン	11.7	5.0	スーダン	114.3	3.4
6	その他	118.1	50.7	その他	1,469.7	43.7
計		233.1	100.0		3,362.6	100.0

資料: ロシア税関統計をもとに農林水産省で作成

2 とうもろこし

(1) 国際的なとうもろこし需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し> 2020/21 年度

生産量 前年度比 ↑ 前月比 ↓

- ・ブラジル等で上方修正も、米国等で下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。

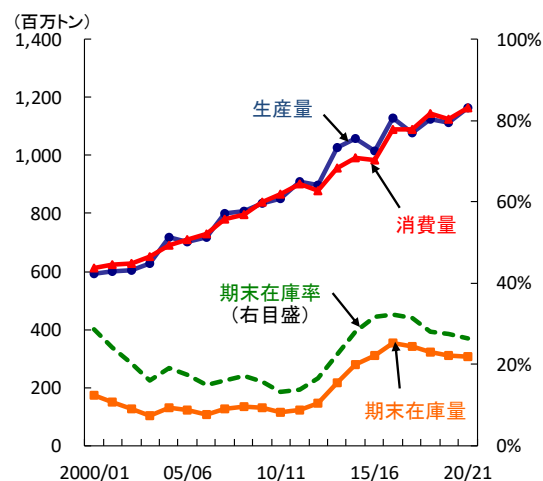
消費量 前年度比 ↑ 前月比 ↓

- ・中国、ブラジル等で上方修正も、米国等で下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。

輸出量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

- ・ウクライナ、EU等で下方修正も、米国等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

期末在庫量 前年度比 ↓ 前月比 ↓



資料：USDA「PS&D」(2020.9.11)をもとに農林水産省にて作成

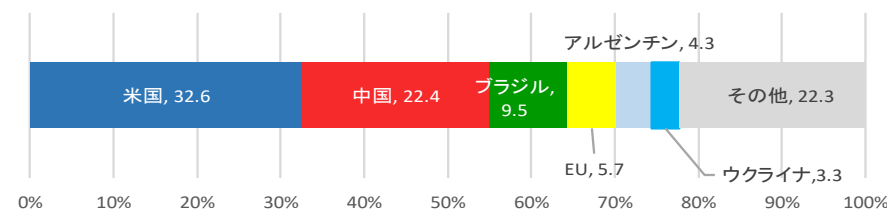
◎世界のとうもろこし需給

(単位:百万トン)

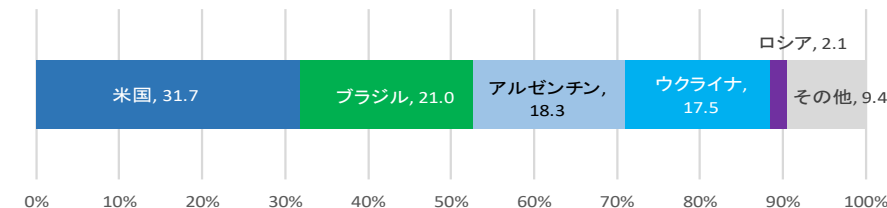
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測からの 変更	対前年度 増減率(%)
生産量	1,123.6	1,112.8	1,162.4	▲ 8.6	4.5
消費量	1,144.3	1,124.2	1,164.7	▲ 0.1	3.6
うち飼料用	703.1	708.0	733.1	1.1	3.6
輸 出 量	181.1	170.3	186.0	1.4	9.2
輸 入 量	163.2	167.5	179.3	0.4	7.1
期末在庫量	320.5	309.2	306.8	▲ 10.7	▲ 0.8
期末在庫率	28.0%	27.5%	26.3%	▲ 0.9	▲ 1.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(11 September 2020)

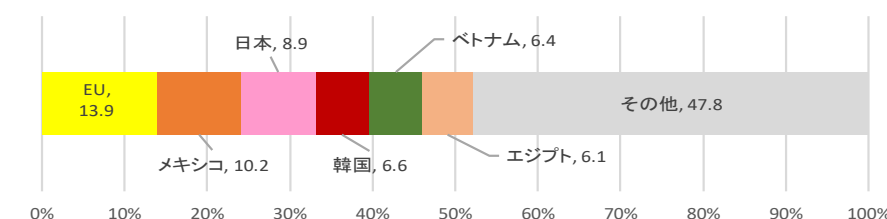
○ 2020/21 年度 世界のとうもろこしの生産量(1,162.4百万トン)(単位:%)



○ 2020/21 年度 世界のとうもろこしの輸出量(186.0百万トン)



○ 2020/21 年度 世界のとうもろこしの輸入量(179.3百万トン)



(2) 国別のとうもろこしの需給動向

< 米国 >

【生育・生産状況】米国農務省（USDA）によれば、2020/21年度の生産量は、8月の中西部の乾燥天候や8月中旬に発生した暴風雨（Derecho）の影響を受け、前月から9.6百万トン下方修正されたものの、単収は史上最高となり、生産量は2016/17年度に次ぎ史上2位となる、前年度より9.4%増の378.5百万トンの見込み。「Crop Progress」（2020.9.14）によれば、9月13日現在で成熟率は41%と、過去5年平均（32%）及び前年度同期（16%）より進んでいる。収穫率は5%と、前年度同期（3%）より進み、過去5年平均（5%）と同程度となっている。また、作柄評価は、良からやや良が60%と前年度同期（55%）を上回っている。

【需要動向】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、価格上昇による飼料用需要の伸び悩みと新型コロナウイルスの影響によるガソリン混合用エタノール需要の伸び悩みから前月予測から5.1百万トン下方修正されたものの、前年度より4.1%増の313.7百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、輸出競合国の供給力の減少から前月から2.5百万トン上方修正され、前年度より31.7%増の59.1百万トンの見込み。ウクライナ等の輸出減が背景にあるとみられる。なお、輸出検証高（2020年1月2日～9月3日）は、34.0百万トンであり、内訳はメキシコ（9.7百万トン）、日本（8.3百万トン）の順である。

とうもろこし－米国

(単位:百万トン)

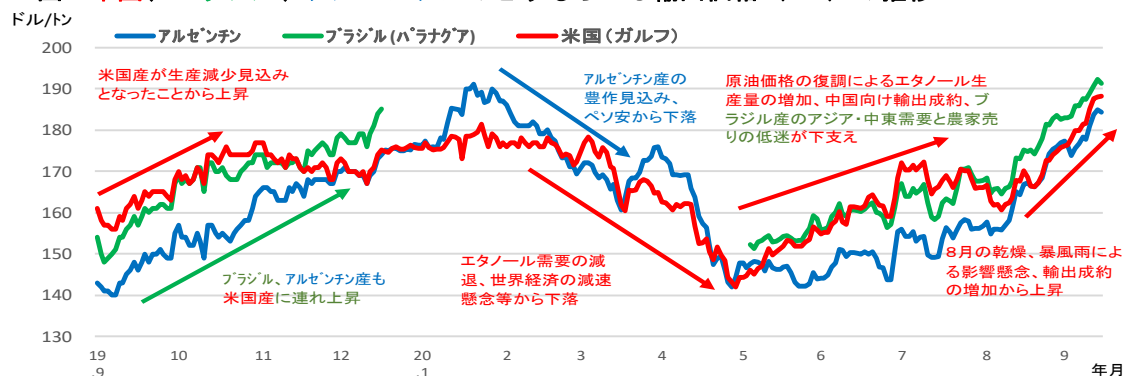
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測からの変更	対前年度増減率(%)
生産量	364.3	345.9	378.5	▲ 9.6	9.4
消費量	310.5	301.4	313.7	▲ 5.1	4.1
うち飼料用	137.9	142.3	148.0	▲ 2.5	4.0
エタノール用等	136.6	123.3	129.5	▲ 2.5	5.0
輸出量	52.5	44.8	59.1	2.5	31.7
輸入量	0.7	1.1	0.6	-	▲ 43.9
期末在庫量	56.4	57.2	63.6	▲ 6.4	11.1
期末在庫率	15.5%	16.5%	17.1%	▲ 1.6	0.5

(参考)

収穫面積(百万ha)	32.89	32.91	33.78	▲ 0.22	2.6
単収(t/ha)	11.07	10.51	11.20	▲ 0.21	6.6

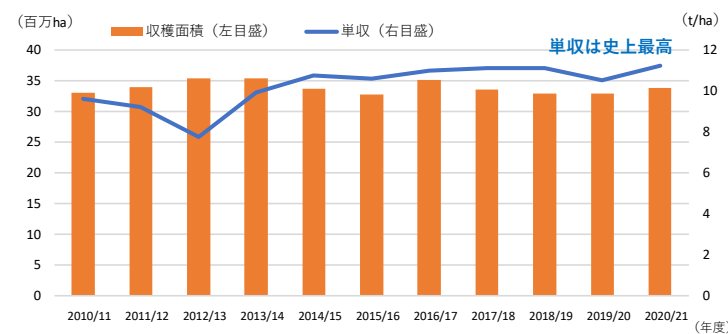
資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」（11 September 2020）

図：米国、ブラジル、アルゼンチンのとうもろこし輸出価格（FOB）の推移



資料：IGCのデータをもとに農林水産省にて作成。

図：米国産とうもろこしの単収・収穫面積の推移



資料：USDA「PS&D」（2020.9.11）のデータをもとに農林水産省にて作成。

< ブラジル >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、単収がわずかに下方修正されたものの、最近の農家売渡価格の上昇を受けた作付けの拡大見込みにより収穫面積が上方修正されたことから前月から3.0百万トン上方修正され、前年度より7.8%増の110.0百万トンとなり、史上最高の見込み。9月中旬現在、南部のパラナ州、リオグランデドスル州で夏とうもろこしの作付けが開始された。ただし、パラナ州では更なる降雨が必要な状況。

なお、ブラジル食料供給公社(Conab)月例報告(2020.9.10)によれば、2019/20年度の夏とうもろこしの生産量は、前年度比0.2%増の25.7百万トンの見込み。一方、大豆収穫後に作付けされ、収穫率が約90%の冬とうもろこしの生産量は、主産地のマトグロッソ州等での作付面積の増加により前年度より3.2%増の76.8百万トンが見込まれ、合計では102.5百万トンと史上最高の見込み。(P.19大豆—ブラジルのクロップカレンダー参照)。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、中国向け食肉輸出のための飼料需要の高まりにより前月から2.0百万トン上方修正され、前年度より1.4%増の70.0百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、生産量の上方修正に伴い前月から1.0百万トン上方修正され、前年度より14.7%増の39.0百万トンの見込み。輸出シェアは世界第2位を維持(図参照)。一方、輸入量は1.5百万トンの見込み。

ブラジル貿易統計によれば、2020年1～8月の累計輸出量は13.8百万トンで、収穫が例年より早かった前年度と比べ37%減となっている。内訳は、1位がイランで165万トン、2位が台湾で141万トンとなっている。9月以降、冬とうもろこしの収穫に伴い、輸出量が増加するとみられる。

とうもろこし—ブラジル

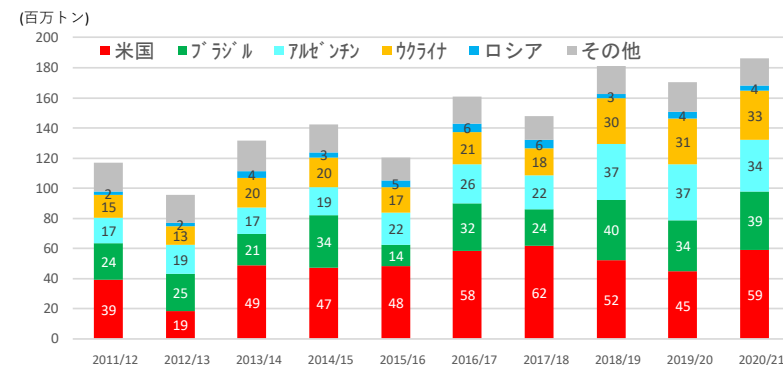
(大豆収穫後に栽培する冬とうもろこしが7割を占め、夏とうもろこしは3割)

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21			
			予測値、()はIGC		前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	101.0	102.0	110.0	(106.3)	3.0	7.8
消 費 量	67.0	69.0	70.0	(71.0)	2.0	1.4
うち飼料用	57.0	59.0	60.0	(54.5)	2.0	1.7
輸 出 量	39.7	34.0	39.0	(36.0)	1.0	14.7
輸 入 量	1.7	1.2	1.5	(0.8)	-	25.0
期末在庫量	5.3	5.5	8.0	(5.9)	-	45.5
期末在庫率	5.0%	5.3%	7.3%	(5.5%)	▲ 0.2	2.0
(参考)						
収穫面積(百万ha)	17.50	18.50	19.50	(18.80)	0.60	5.4
単収(t/ha)	5.77	5.51	5.64	(5.65)	▲ 0.02	2.4

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(11 September 2020)
IGC 「Grain Market Report」(27 August 2020)

図：世界のとうもろこし輸出国の輸出量の推移



資料: USDA 「PS&D」 (2020.9.11) のデータをもとに農林水産省にて作成。

< アルゼンチン >

【生育・生産状況】USDA によれば、2020/21 年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度と同じ 50.0 百万トンの見込み。ブエノスアイレス穀物取引所（2020. 9. 24）によれば、作付進捗率は 11%で、作付けの順調な進捗には新たな降雨が必要な状況。

【貿易情報・その他】USDA によれば、2020/21 年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、前年度より 8.1%減の 34.0 百万トンの見込み。

アルゼンチン国家統計局によれば、2020 年 1～7 月の輸出量は 24.3 百万トンで、前年同期より 13%増。内訳は、1 位がベトナム 5.2 百万トン、2 位がエジプト 3.1 百万トン、3 位がアルジェリア 2.3 百万トン。なお、アルゼンチン政府は、財政赤字の補填等のため、2019 年 12 月 14 日、輸出税を約 7 %から 12%へ引き上げた。

< 中国 >

【生育・生産状況】USDA によれば、2020/21 年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度より 0.3%減の 260.0 百万トンの見込み。中国国家糧油情報センター（2020.9.4）によれば、8 月の産地の東北部の天候は適度な降雨に恵まれ、比較的良好で、とうもろこしの成熟に有利となった。9 月上旬現在、東北部の春とうもろこしは乳熟期に入っている。河北省等の夏とうもろこしも乳熟期に入っている。

【需給状況】USDA によれば、2020/21 年度の消費量は、ASF と新型コロナウイルスによる需要減から回復し、養豚数の増加により飼料用需要が高まることから、前月から 2.0 百万トン上方修正され、前年度より 0.7%増の 279.0 百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】中国国家発展改革委員会は、2020 年 9 月 17 日に 2021 年の低関税（最低 1 %）適用の輸入枠を 2020 年（7.2 百万トン）と同量に据え置くと発表した。

中国の貿易統計によれば、2020 年 1～7 月の輸入量は 457 万トンで、前年同期より 31%増。主にウクライナ産 419 万トン（92%）が占めている。農業農村部「農産品供需形勢分析月報 8 月号」によると、養豚生産の回復により飼料用需要が旺盛となり、8 月の国内流通価格は継続して上昇した。

とうもろこしーアルゼンチン

（単位：百万トン）

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、() は IGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	51.0	50.0	50.0 (52.1)	-	-
消 費 量	13.8	13.5	15.0 (21.1)	-	11.1
うち飼料用	9.7	9.5	11.0 (16.5)	-	15.8
輸 出 量	37.2	37.0	34.0 (31.0)	-	▲ 8.1
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	-
期末在庫量	2.4	1.9	2.9 (4.4)	-	54.0
期末在庫率	4.6%	3.7%	5.9% (8.5%)	-	2.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	6.10	6.20	6.20 (7.10)	-	-
単収(t/ha)	8.36	8.06	8.06 (7.34)	-	-

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(11 September 2020)
IGC 「Grain Market Report」(27 August 2020)

とうもろこしー中国

（単位：百万トン）

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、() は IGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	257.3	260.8	260.0 (261.0)	-	▲ 0.3
消 費 量	274.0	277.0	279.0 (287.2)	2.0	0.7
うち飼料用	191.0	192.0	192.0 (182.0)	2.0	-
輸 出 量	0.0	0.0	0.0 (0.1)	-	-
輸 入 量	4.5	7.0	7.0 (7.0)	-	-
期末在庫量	210.3	201.1	189.1 (172.2)	▲ 5.0	▲ 6.0
期末在庫率	76.8%	72.6%	67.8% (60.0%)	▲ 2.3	▲ 4.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	42.13	41.28	42.00 (41.76)	-	1.7
単収(t/ha)	6.11	6.32	6.19 (6.25)	-	▲ 2.1

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(11 September 2020)
IGC 「Grain Market Report」(27 August 2020)